

# 会議結果報告書

令和8年2月18日

会議の名称	令和7年度第1回志木市総合戦略会議
開催日時	令和8年2月18日（水）午後2時00分～午後3時40分
開催場所	志木市役所 庁議室
出席委員	星野委員、高橋委員、岡田委員、 関口委員、那須委員、小笠原委員、 松田委員、矢野委員、山口委員 <p style="text-align: right;">（計 9人）</p>
欠席委員	正能委員 <p style="text-align: right;">（計 1人）</p>
説明員職氏名	政策推進課 矢野主任、山口主事補 財政課 吉田主査、山本主事補 <p style="text-align: right;">（計 3人）</p>
議題	1 開会 2 議題 （1）第二期志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和6年度実績報告について （2）令和6年度地方創生臨時交付金等に係る効果検証について （3）令和6年度企業版ふるさと納税に係る効果検証について 3 その他 4 閉会
結果	2議題（1）～（3）について委員に説明し、質疑応答等を行った。

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開会

2 議題

- ・山口政策推進課主事補から（1）について説明後、内容について質疑応答を行った。

（委員）

K P I の達成度を高めていく施策として、子育て支援策などの説明があったが、少子化の対策として志木市は子どもを産みやすい環境、育てやすい環境のどちらに重点を置いて進めていく予定か。

（委員）

志木市として、まずは、子どもを育てやすい環境に対してより重点を置いている。保育分野、学校教育分野等も含め、子どもを育てやすい環境を構築することで、結果として子どもを安心して産みやすい環境につながると考えている。

（委員）

全てを行政がカバーするのは、限られた財源の中で難しいことである。何かに重点を置いて進めるということは良いと思う。そして、それが市としての魅力にも繋がると思う。

また、現代において、子どもを持つという夢がなかなか持ちづらいのではないかと考えている。市の情報発信の中で、例えば子どもと公園で遊んでいる様子や子育てを楽しんでいる姿、子育てに協力してくれる人の存在など、子どもを産み育てることが楽しいと思えるようなPRも行うのはどうか。

（委員）

子育て支援という行政としての福祉的視点に偏りがちであるため、とても参考になる意見だと感じている。子育て支援施策にかかる発信内容については、シティプロモーションの担当課にも共有し、工夫をしていく。

（委員）

目標指標の合計特殊出生率について、令和6年度時点で県平均よりも下回っている状況のため、県平均よりも上になるよう目指して行ってほしい。また、合計特殊出生率の順位が高い市町村の取組なども参考にする必要がある。

(委員)

少子化の要因について、志木市独自の要因は何かあるのか。

(委員)

大型マンションの完成などにより、子育て世代の転入の増加に合わせて、出生率の向上が見られた年もあったが、基本的には世の中の流れと同様の傾向であると考えている。

(委員)

第3章2節の「要介護認定率 (%)」について、令和6年度は18.19%であり目標値の20.08%以下を達成しているが、達成度を「ほぼ達成」としているのはなぜか。

(説明員)

この目標値の設定は、令和7年度に20.08%以下となることである。目標年までの5年間のうち4年間において目標値を下回っていることからほぼ達成としている。

- ・矢野政策推進課主任から(2)について説明後、内容について質疑応答を行った。

(委員)

令和5年度に実施した給食費無償化等事業について、私自身、保護者としてすごく良い事業であると思う一方、給食費は基本的に口座引き落としであり、通知もはがき1枚のみのため、制度を知らない方も多数いると思う。子育て支援策として、もっと積極的なPRが必要である。

(委員)

給食費無償化等事業の給食材料費高騰対応事業について、物価高騰分を補助することで、給食のクオリティを下げることなく、利用者負担も増額しないようにしたという認識で良いか。

(説明員)

その通りである。

(委員)

志木市は給食にとっても力を入れているのに、そのアピールが少ないように感じる。もっと周知すべきと考える。

(委員)

志木市は自校で給食を作っているため、とてもおいしい。子どもたちだけでなく、先生のモチベーションにも大きく関わっていると聞いている。

(委員)

志木市では、栄養士が各校に配置されており、減塩給食等も実施している。これらは大きなアピールポイントになると考える。

(委員)

こういった交付金が使われていること自体、今回初めて知ることができた。もっと積極的にPRを行ってほしい。また、自身の経験から広報誌の周知能力の高さを実感しているため、広報誌を活用してPRを行うと良いと思う。

(委員)

市公式 Facebook で給食を取り上げても良いのではないか。

(委員)

こういった交付金で行う事業について、他市との差別化等は行っているのか。

(説明員)

志木市として、交付される金額を最大限に活用でき、最大限に効果を市民に届けることができることに重点を置き、事業を検討している。一方で、国において「推奨事業メニュー」としてある程度の方向性が決められている部分もある。

- ・山本財政課主事補から（3）について説明後、内容について質疑応答を行った。

(委員)

実績について、令和6年度と令和7年度を比較して4件ほど増加しているが、考えられる理由はなにか。

(説明員)

企業版ふるさと納税の市場が年々拡大していることが理由としてあげられる。企業とのマッチング支援を委託している会社の変更もあった。

(委員)

寄附を募集しているプロジェクトとして、4プロジェクトが提示されているが、その4プロジェクトの中から1つのプロジェクトを選ぶ必要があるのか。他の事業に興味がある場合、他の事業を選択することも可能であるか。（4

プロジェクト：市民の健康作りプロジェクト、子育て世代定住プロジェクト、暮らしやすさ向上プロジェクト、魅力発信プロジェクト)

(説明員)

寄附を行う際、企業様が分かりやすいように大項目として4プロジェクトを案内しており、4プロジェクトの中の様々な事業の中から賛同いただける事業を選択して寄附していただくことが可能である。

4 閉会